



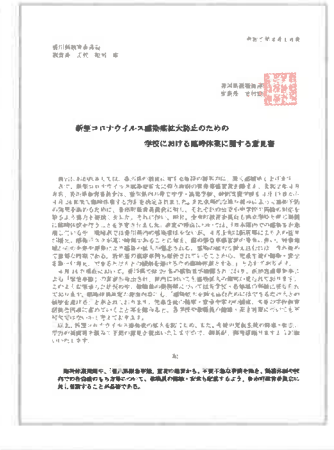
香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：北村 顕吾

〒760-0004
高松市西宝町2丁目6番40号
香川県教育会館602号

TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために

四月十六日(木)、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校における臨時休業に関する意見書」を提出した。



四月八日(水)、香川県教育委員会から県内の県立中学・高等学校、特別支援学校を四月十三日から四月二十四日まで臨時休業する方針の決定、および各市町教育委員会に対しそれぞれの公立小中学校での同様の対応の協力要請に伴い、県内の公立小中学校においても同じ期間臨時休校が決定となったこと、また四月十四日(火)に、浜田恵造香川県知事による「緊急事態」宣言が発出されたことを受けて行なった。

要望は、ICTを活用して行なった。香教連からは北村顕吾委員長が、意見書の提出と、その趣旨について説明した。県教委は、工代祐司教育長が公務のため、代わりに横田由香主任管理主事が対応してくださった。

「未然に感染拡大を防ぐ」観点から、「自分が保菌している可能性がある」「相手が保菌している可能性はある」ことを強く意識して行動することが、今、重要だと考えている。それは教職員についても同様のことが当てはまる。現状は「それぞれの生命の危機を防ぐ」「感染拡大を防ぐ」ことが最優先されるべきである。また全県において、今後、教職員間での感染が確認されると、児童生徒の健康・安全や学力の補償等、さらなる大きな支障を与えるだけでなく、保護者の方々や地域の方々への不安や困惑にもつながると考えられている。

内容は、次の通りである。
○臨時休業期間中、「香川県緊急事態」宣言の趣旨から、不要不急な事情を除き、勤務体制や校内での各会議のちの方等について、教職員の健康・安全も配慮するよう、各市町教育委員会に対し要請することが必要である。

毎月10日発行 定価1部50円
(年間1,000円 送料も)
会員の購読費は会費の中を含む



香教連は、結成四十六年を迎えた、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

先生のための マネープランコラム

ファイナンシャルプランナーからのお便り
「新型コロナウイルスについて」特別編③

新型コロナウイルス感染症については、その対応に大変苦慮されていることと推察いたします。私は、ファイナンシャルプランナーの立場から少しでもお役にたてる情報をお伝えしようと思います。



世界有数の投資顧問会社「キャピタルグループ」のCEOティムアーマーは、今回のコロナショックに対して、ホームページで以下のコメントを流しています。「ウイルス自体には前例がありませんが、市場変動は新しいことではありません。」確かに、一九八七年の「ブラックマンデー」、二〇〇〇～二〇〇二年のITバブル崩壊、二〇〇七～二〇〇九年のリーマンショック、と大きな下落相場は三度ほどあります。ブラックマンデーは約三か月、ITバブル崩壊は約二年六か月、リーマンショックは約一年五か月の間、株式相場は下落しました。しかし、ブラックマンデーは一年十一か月、ITバブル崩壊は七年二か月、リーマンショックは五年六か月かかって、直近ピークを回復しています。時間はかかっています、過去のいずれの大暴落でも、相場は戻ってきているのです。長期の資産形成を目的に、積み立てて投資をする個人投資家は増えており、このコロナショックのあった三月一か月で、つみたてNISA向けの投資信託には、約一二五〇億円が流入しています。
「長期・分散・積立」をしっかり学び、実践されている方が増えているということですね。

F P ラボ代表 伊藤祐一

温故知新

今回は「返事は心の窓になる」です。返事とは、その文字のごとく「返し事」であって、相手の呼びかけに応える気持ちそのものです。歯切れのよい返事、ほんやりした返事など、そこには相手への感情と関心が如実に表れます。そこで、教師はまず、どんな場所でも通じる返事の基本をきちんと教えることが大切です。相手にボールを投げられたのに、怖がって、あるいは面倒くさく逃げてしまったり、それが元気の悪い返事です。反対に、相手の目を見て明るく「はいっ」と返事ができれば、それだけで双方の気持ちがつながり、コミュニケーションが始まります。返事は、自分の殻から外に出るための、ごく小さなきっかけです。そしてとても大切なきっかけなのです。そこで気持ちのよい返事のための五つの約束事を紹介します。どれも難しいことではありません。しかし日々実践していく中で、大きな効果をもたらしてくれる事柄ばかりです。

①すくに返す

返事をする際、相手に対する応答です。呼びかけを受け止めたこのサインです。ですから、時間をおいてはいけません。呼びかけられたら、何よりもすぐに返すことが鉄則です。「呼ばれたら、すぐに返事！」この指導を徹底することは、教室に適切な緊張感と活気をもたらす、子どもたちの集中力を養うことにもつながります。

②元気をよぶ

親に名前を呼ばれたとき、おそらく「はい」と間延びした返事で応える子どもが多いでしょう。しかし教室での返事は、それではいけません。歯切れよく元気の返事は、公的な場での必須条件です。教室では常に、「一般的なのはいい、よきよきに勢いよく「はい」をめざしましょう。「はい」の後に「はいっ」を付けましょう。」という具体的な指導が効果的です。単に「元気に」と教えるよりも、「返事は「はいっ」だよ。」と、この小さな「っ」が実践的な元気の源になると思います。

③相手の目を見る

呼びかけた人が誰なのか、どんな状況なのか、それを読み取ることも返事の基本です。教室内ならほいほいと元気よく返事をすべきです。でも悩んでいる友達がいたら、それと穏やかに返す配慮も必要でしょう。ですから返事をする時には、必ず相手の目を見るよう教えることが大切です。返事はただ声を出すことではありません。相手の目を見て気持ちを返す、という意味なのです。

④構えをつくる

返事は相手の呼びかけを受け止め、次の行動に移るための構えをつくる行為です。だからこそ、授業中に指名され自分には答えられない問いかけには、「はつきりと「分かります」と言うべきなのだと思えます。答えが分からなくても、決して恥ずかしいことではありません。しかし、投げやりな返事は相手を軽視する恥ずべき行為だと教えますし、

⑤返事、即、行動

授業中に名前を呼ばれたら、返事をしなくても立ち上がる、立ち上がることが難しい場合は、顔(目)とおへそを呼ばれた相手の方に向けて、など指導をしていますか。それはとても大切な事です。返事は相手とのコミュニケーションを結ぶ入り口です。名前を呼ばれたら相手の方を見向き、身体全体で相手の呼びかけを受け止めたことを示せるようにしましょう。その動作がまた子ども自身の集中力を増し、教室の活気を生み出します。

返事・挨拶は、相手への敬意の表れ。

きちんとした返事・挨拶は、夢に向かって進んでいく過程で、大切な人生のお守りとなります。

(願)